


平成 28 年 8 月 19 日

二本松市議会議長 様

会 派 名 公 明 党



代表者名 小 林 均 

視察研修報告書

当会派において、下記により視察研修を実施しましたので報告書を提出いたします。

記

1. 研 修 名 地方議員セミナー..... 子ども・子育て支援新制度
自治体における保育行政の課題
2. 研修日時 平成28年 8月3日 (水)
10時00分～17時00分
3. 研修場所 新宿田区納戸町 26-3 保育プラザ 2 階研修室
4. 講 師 等 別紙のとおり
5. 参 加 者 ① 小 林 均 ②
③ ④
⑤ ⑥
⑦ ⑧
⑨ ⑩



視察研修結果報告書

1 視察の目的

2015年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたが、当市でも現在、待機児童や、保育士不足、保育料の軽減など様々な課題を抱えている状況である。今回の研修では、専門家の話を聞いて、国の最新情報を踏まえた、基本的な仕組みの説明と、自治体での具体的な事例を学びながら、今後の課題を考えていきたい。

2 視察結果若しくは成果

○現在の保育制度は介護保険の認定の仕組みが導入されたもの

○小規模保育の受け入れは増えたけれど、3歳以降の受け皿がない

○保育所の短時間と標準時間の問題が浮上

○現在の待機児童は0歳～1歳に集中

○待機児童の定義は自治体によって違う

○就学前の子どもの人口を、0歳・1歳・2歳・3歳・4歳・5歳のそれぞれの年齢の人口に対して、何人分の保育所の定員があるか？

ニーズ把握を人口比率で行うべき→50%を超えていれば待機児童0

○規制緩和による待機児童対策を進めても20年解消しない

○現在の（保育士：子ども＝1：20）→羊飼い

詰め込み保育が増え事故が増える

○船橋市、千葉市、高崎市などの保育士の待遇改善や保育受け入れ基準の緩和策など本市の学ぶべき施策も多い

※ 添付資料（視察資料、写真、説明者の名刺（写）、行程表 等）

報告者氏名 小林 均

子ども・子育て支援新制度
自治体における保育行政の課題
東京・議員セミナー 参加証

*当日、この参加証をご持参のうえ、受付にてご提示ください。

二本松市	氏名	お弁当 不要	参加費	12,000 円
受付No. 49	小林均 様		お弁当	0 円
			合計	12,000 円

同封の振替用紙をご使用のうえ、郵便局から 12,000 円をお振り込みください。

備考

日時● 2016年8月3日(水) 10時00分(開場9時30分) ~17時00分
場所● 保育プラザ 2階研修室 東京都新宿区納戸町26-3

10:00~11:20	講義1 子ども・子育て支援新制度導入後の政策的状況 施設の再編成・移行状況、待機児童解消、保育士不足問題など 逆井直紀(保育研究所常務理事)
11:30~13:00	講義2 待機児童の解消をめぐる自治体の状況 深刻な家庭の実態、地域状況を踏まえ、自治体の課題を整理 猪熊弘子(ジャーナリスト・東京都市大学客員准教授)
14:00~15:30	講義3 保育士不足問題の解決のために 政府や自治体の対応の問題点、処遇改善のための課題を整理 村山祐一(保育研究所・元帝京大学教授)
15:40~16:30	講義4 自治体の保育行政、評価の視点 待機児童の扱い、育休退園、保育料負担、単独補助など、 実方伸子(保育研究所所員)
16:30~17:00	質問と交流 全講師で対応

※ キャンセル規定 7月27日午後3時までにご連絡いただいた場合に限り、手数料(1000円)を差引いたうえで返金いたします。

お問い合わせ先 保育研究所
〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 保育プラザ Tel.03-6265-3173 FAX03-6265-3230